

ミステリ読書案内

2022. 5. 29 発行元

第360号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

一色さゆり「コンバサダーシリーズ」

4月に幻冬舎文庫から一色さゆりの『コンバサダー・シリーズ』の3作目『失われた安土桃山の秘宝』が出た。狩野派の「屏風絵」に関する作品だ。併せて、他作家の「美術ミステリ」についても取り上げてみたい。

「コンバサダー」シリーズとは

「コンバサダー」とは美術品などの修復士のこと。天才修復士を名乗るケント・スギモトと彼の助手役となっていく糸川晴香の物語。シリーズ一作目『コンバサダー・大英博物館の天才修復士』は、シリーズの導入的な位置づけで、短編集形式で二人の活躍を描く。パルテノン神殿の石板、和時計、エジプトのミイラ、北斎の『グレート・ウェーブ』を題材として取り上げ、そこに纏わる謎を解決していく。ケントが一癖も二癖もある人物なので、晴香は振り回されることも多い。

この第一作の最後で二人は大英博物館を辞めることになる。個人的に独立して仕事を請け負う形になった。第二作『幻の《ひまわり》』は誰のもの』ではゴッホの「ひまわり」とフェルメールの知られざる真作を取り上げる。長編になって物語の奥行きが広がる。

第三作「失われた安土桃山の秘宝」

それで最新作の『失われた安土桃山の秘宝』となる。今回は狩野永徳の落款が遺された屏風『四季花鳥

図』がテーマとなる。元は織田信長の安土城建築に併せて襖絵として描かれたもので、焼け落ちた安土城から奇跡的に残ったものらしい。ただ、六曲一隻の屏風の四季のうち、「春」の部分が欠落していた。その修復を依頼されたのがケントということになる。

ケントと晴香は調査のためにロンドンから京都へと旅に出る。依頼主が他の修復士へも同時に仕事を頼み、出来映えを競わせる形式にしているので、勢い熱量が上がることになる。約400年前の資料を探し出すことができるのか。

ケントの父親である骨董商の相元(スギモト)桂二郎が重要な役目

を持っており、各場面に出てきてサジェスジョンを与えてくれる。ケントと桂二郎は仲違い状態にあり、晴香は二人を繋ぐはたらきをすることになる。最後は失われた部分を最高の技術で仕上げていく。

歴史ミステリとしての側面も

「狩野派」はあまり小説には取り上げられていない気がする。時代を背負った日本を代表する美術なのだが…。本書の第二章「初夏」には狩野山楽の伝記が出てくる。山楽は狩野永徳との血縁関係はないが、養子的な役割を果たした人物。永徳の嫡子・光信を支えて江戸初期の狩野派を発展させた。次の世代の探幽との橋渡しを担った。

この辺の時代分析や安土桃山文化の解説、技術の再現に至る部分は歴史ミステリとしての意味が大きい。楽しんで読むことができた。一色作品、時にはわかりにくいこともあるけれども、本書は満足。

梶村啓二「ポッティチェリの裏庭」

2019年筑摩書房。

筑摩からミステリが出版されるのは珍しい。作者の梶村啓二はミステリ畑の出身ではない。寡作なので、作者唯一のミステリ本と言えるかもしれない。ポッティチェリはルネサンスの画家。『春』『ヴィーナスの誕生』などが代表作。ダヴィンチやミケランジェロは取り上げられることが多いが、ポッティチェリを題材にしたところが本作を特別なものになっている。基本は現在のドイツを舞台にしているのだが、ところどころに十六世紀のフィレンツェの女性がアレッサンドロ・フィリペーピ宛に出した手紙文が登場するのがポイントになっている。ルネサンスの巨匠が遺した未発見の真筆と誘拐事件を絡めたストーリー展開。親友の死と遺された母娘を救い出そうとするタカオの奮闘が読みどころの一冊。

深水黎一郎「大癒見警部の事件簿・リターンズ」

2016年光文社。シリーズ一冊目になる

『大癒見警部の事件簿』は「ノックスの十戒」を取り上げた本格ミステリそのものといった内容。今回取り上げた『リターンズ』は趣向を変えて「芸術探偵」との対決を描いている。5編収録の短編集。

王義之の書、常用漢字表と交ぜ書き、ギリシャ悲劇など出てくるが、絵画関係は第四話の『ピーター・ブリューゲル父子真贋殺人事件』が力作である。ブリューゲルは16世紀のオランダの画家。父子で同じ名前を名乗っている。美術評論家の太田垣が何かで殴られて殺された。庭の植え込みの中に風で飛ばされたと思われる鑑定書が。「風景+群集図…偉大な大ブリューゲルの画面を子が台無しに…」などと書かれていた。当時の板絵を探すけれども…。「警視庁最悪の警部」=大癒見警部(「おおべしみ」と読む)は海塾刑事とともに捜査に当たるが、そこへ芸術探偵の神泉寺瞬一郎が登場して、さまざまな解説をしてくれる。でも、このシリーズ、どんどん道を外れていき、とんでもない解決に突き進んでいく。痛快と言おうか…怪作と言おうか…。